

治療のためにマスクタイプの人工呼吸器を使用する

患者さんが必要とする看護支援とは？

-急性呼吸不全患者が非侵襲的陽圧換気療法の継続を断念する要因分析-

村田 洋章

本研究では、気管に管を入れずマスクを使い呼吸を補助する非侵襲的陽圧換気療法 (Noninvasive positive pressure ventilation : NPPV)を行う患者さんの認識を含めた、継続阻害要因や促進要因の明示を目的としました。

研究の結果、患者さんの認識である「不眠感」「必要性の自覚」等へも着目し看護介入することで、NPPV 継続の促進へ繋がることがわかりました。